

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス くろーぼー		公表日		令和7年 3月 5日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・開放的に使えるように区切ったり個室にしたり、活動に合わせて使っている。 ・死角がないように職員の配置など気をつけている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・部屋番号をつけ、子どもたちが分かりやすいようにしている。 ・玄関や窓など危険の内容に補助カギをつけている。	・バリアフリー化は難しい。必要な場合は職員が補助するなど配慮していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・毎日清掃をしている。玩具の消毒も週一で行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2		・必要に応じて個別で使えるようにしていく。死角がないように配慮する。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			・個々の振り返りはできているので全体での振り返りをし、職員の意識の向上を図る。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		・評価表を全職員確認し、業務改善へ話し合いをしつなげていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		・評価表から分からないことやそれぞれの役割をし確認する。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		・年度末に行っている。	・今後増やす予定。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・法人内の研修は年間計画を立てている。 外部研修も受講している。		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			・作成し、HPIに載せている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・面談や個別支援会議をもとに計画書を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・個別支援会議に支援に関わる職員が参加し、会議をもとに作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・計画書ファイルを作成し、職員間で共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・日々の行動観察は行い、記録へ残している。	・今後ツールなどを使用しつつ行動確認をしていく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・話し合いをして決めている。		

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	・固定化しないように活動カレンダーを作成し、取り入れている。	・子どもたちのニーズに合った活動を今後取り入れていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	2		・個別活動を今後増やしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・必ず朝礼・昼礼を行い、その日の活動内容や流れを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	・その日には難しいので、次の日に振り返りを行っている。	・少数でも振り返りを行うようにする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・記録は必ず取っている。気になる点などは次の日に振り返りかえるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・ご自宅へお伺いし、面談等行い見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		・日々の活動の中で日常的な事、様々な遊びや体験、地域との関わり、子どもたちが考えて行う活動等取り入れながら活動をしている。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・活動の中で複数選択することが出来、子どもたちが自己決定できるようにしている。個別のスケジュールでも確認をしながら作っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・理解しているものが参加している。職員間でも様子等を共有している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・相談支援専門員や学校や市役所等、関係機関とは日頃から連携を取っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2	・学校によってはアプリ登録もし、下校時間や変更等確認している。また下校時刻の用紙を学校や保護者からいただき、確認を行っている。	・連絡の行き違い等はあったので、変更等ある場合など必ず連携を取るようになる。またその時の対応策などは振り返りで行う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	・保育園等へ様子など聞きに伺ったりしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		・いままでそのような機会がなかったので、今後あれば情報の提供などしていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		・年に1回は行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		・今年度はなかったので、来年度は交流や地域の子どもたちとの関わりも持ちたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	・管理者が参加している。	・今後、管理者だけではなく、参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・送迎時に子どもたちの様子をお伝えしたり、保護者から朝の様子等聞いたりしている。また、電話などでも気になることなどは連絡を入れてもらったり、こちらから連絡を入れるようにしている。	・発達の状況や課題は必ず職員間で共有するようにする。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	・外部の研修会の情報提供などしている。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・作成する前に必ず面談を行い保護者や子どもたちの意向を確認している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・職員間で共有し、支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		・年に1度は行っている。	・定期的に行う。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・職員間で周知し、解決策など保護者にお伝えする。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・毎月お便りを発行している。InstagramやFacebookにて発信している。	・HPIはリニューアルする予定。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・職員間でも周知し、個人情報のものは鍵付きのキャビネットに保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・送迎時に手渡しで書類などお渡しし、説明するようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		・今年度はできなかった。今後取り入れていく予定。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・避難訓練はお知らせしている。	・ご家庭にもマニュアル等配布していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・定期的な避難訓練は行っている。	・今後は業務継続の訓練も行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・必ず行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・契約時に保護者より確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・その都度必要な措置がある場合は職員間で共有し、行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリハットは必ず職員間で共有し、解決策や再発場王施策を考えている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・虐待防止研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・契約時にお話をし、計画書に記載している。		